

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)箱根芦ノ湖計画(南宿泊棟)	階数	地上3F 地下1F
建設地	足柄下郡箱根町元箱根160-125、126、140、141(地番)	構造	RC造
用途地域	国立公園第2種特別地域-A地区、B'地区	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年3月27日
敷地面積	19,526 m ²	作成者	株式会社入江三宅設計事務所
建築面積	1,111 m ²	確認日	2016年3月27日
延床面積	3,499 m ²	確認者	株式会社入江三宅設計事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 77%
③上記+②以外の 77%
④上記+ 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合 本敷地は自然公園内の芦ノ湖畔に位置する。湖畔丘陵地の地形を生かした建物配置を行い、周辺の景観を生かす計画を目指している。		搬出量を減らすように配慮した計画を行っている。
Q1 室内環境 客室は自然光を積極的に取り入れる計画としている。客室のOA取り入れは外気処理をおこなった空気を取り入れる計画としている。照	Q2 サービス性能 建築基準法に定められた値を十分に上回る耐震性を有し、高品質なコンクリートを使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 既存の敷地内の景石を再利用し地域の景観の継承を図って現況の植生調査を行い、既存樹の潜在的自然植栽を保全した。
LR1 エネルギー 外壁部と屋根に断熱材を設置することで、熱負荷を抑制するように努めている。	LR2 資源・マテリアル 敷地内の既存景石を再利用して、外構の計画を行っている。	LR3 敷地外環境 既存緑地の一部を保全しながら、豊かな緑地空間を形成するように計画を行っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される